

広報

# しんじょう

2  
2009

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.614



なしだんご飾り(1月16日/新庄小学校)

**雪国で暮らす** .....2

**新しいまちづくり協議** .....6

匠の技~卓越技能者表彰~ .....8

いきいき新庄人・市民団体・企業 .....9

しんじょう見聞録 .....10

2月のお知らせ .....12

わたしたちの学校自慢・学校紹介 .....14

## 新庄市章



昭和24年の市制施行にあたり、山形新聞紙上での公募により決定。新庄が雪で名高いところから、外郭を雪の結晶で型取り、中央は新庄の新を単純化したもの。

## 新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>  
E-mail [info@city.shinjo.yamagata.jp](mailto:info@city.shinjo.yamagata.jp)



# 雪国で暮らす

一夜にして降り積もる雪。  
わたしたち新庄人は、雪と闘い、雪を生かし、雪と暮らす術を学んできました。  
雪は「やっかいもの」と思われがちですが、雪国特有の文化をはぐくんできたことも事実です。  
雪を克服し、雪に学び、雪に親しみながら暮らしてきた文化や伝統、雪国の楽しみなど  
さまざまな視点から「雪のふるさと新庄」の暮らしを振り返ります。



## 雪害救済運動発祥の地

昭和三年、雪の代議士といわれる松岡俊三が「雪害は天災にあらず人災なり」と雪害救済運動を新庄から全国に訴えました。昭和八年、全国初の雪の役所「農林省積雪地方農村経済調査所」が開設され、昭和四十三年に、新潟県長岡市について全国二番目となる「無雪都市」を宣言しました。翌昭和四十四年には、科学技術庁国立防災科学技術センター新庄支所（現防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所）が開設され、現在も雪に関する研究が続けられています。

市では、雪の情報を全国に発信する施設として、平成九年に「雪の里情報館」を開設。雪国救済運動発祥の地として培ってきた歴史を未来に伝える取り組みをしています。

## ■ 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター新庄支所

降雪・積雪などの気象観測や人工降雪機による降雪実験など雪に関するさまざまな研究が行われています。

毎年夏に開催される一般公開では、“真夏の雪”を体験できます。

◎新庄市十日町高壇1400 ☎22-7550



## ■ 雪の里情報館

雪の結晶や雪の性質、雪国での生活や文化を展示。雪に関する企画展示や雪セミナーなどを開催しています。

また、親しみやすい図書を通じて雪を気軽に学ぶことができます。

■開館 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週月曜日・年末年始

◎新庄市石川町4-15 ☎22-7891





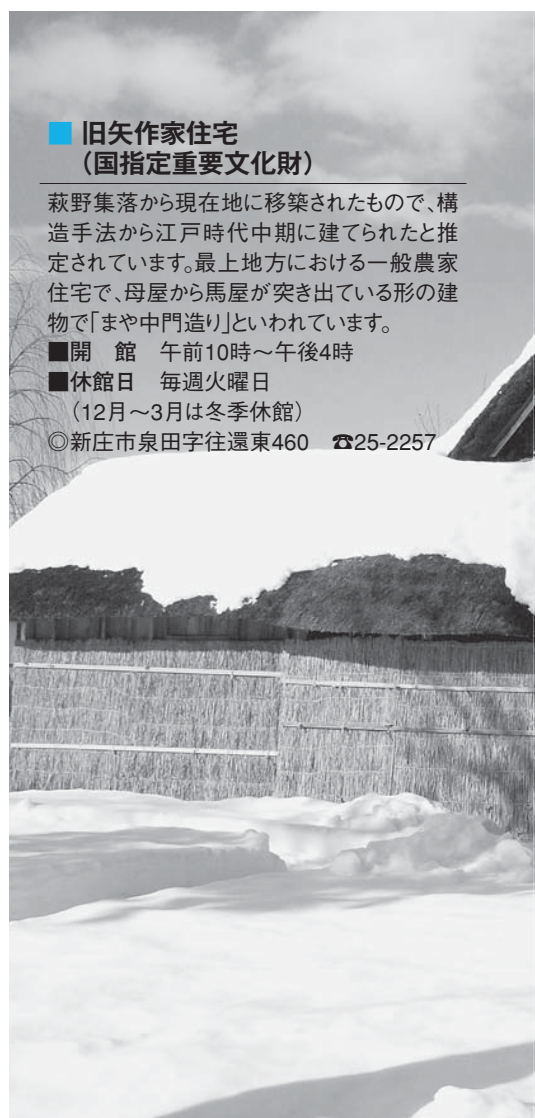
■ 旧矢作家住宅  
(国指定重要文化財)

萩野集落から現在地に移築されたもので、構造手法から江戸時代中期に建てられたと推定されています。最上地方における一般農家住宅で、母屋から馬屋が突き出ている形の建物で「まや中門造り」といわれています。

■開館 午前10時～午後4時

■休館日 毎週火曜日  
(12月～3月は冬季休館)

◎新庄市泉田字往還東460 ☎25-2257



雪の文化  
未来へつなぐ雪国文化

豪雪地帯に位置する新庄では、かつて暮らしの中心に「いろいろ」がありました。いろいろ端では、縄をなったり、食事をしたり、夜には子どもたちが祖父母にせがんで昔ばなしや伝説を語ってもらいました。国指定重要文化財「旧矢作家住宅」には、往年の暮らしが保存され、毎年秋に開催される「みちのく民話まつり」には全国から多くの民話ファンが集い交流の輪を広げています。

「ふるさと歴史センター」では、こうした雪国の生活民具など約二万点を収蔵。収蔵数は東北一といわれ、雪国の生活や文化を学ぶことができます。

■ ふるさと歴史センター

新庄まつりの優秀山車2台を常設展示しています。地下の「雪国民俗館」には約2万点の民具を収蔵。1階は、「新庄市名誉市民特別記念室」と「山車会館」、2階は「歴史民俗資料館」になっています。

■開館 午前9時～午後4時30分

■休館日 毎週火曜日・祝日の翌日

■入場料 大人300円

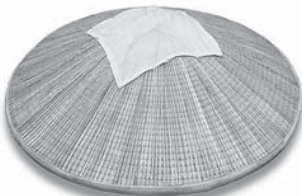
◎新庄市堀端町4-74 ☎22-2188



ふるさと歴史センター  
「雪国民俗館」

わらの文化

わらは、米の副産物。軽くてやわらかい特性を生かしてさまざまな民具に加工されました。使い終わって役目を終えたわらは、肥料として土に戻っていきます。



かさ

あごひもで固定することで両手を使って作業することができます。



みの

コートや合羽のように作業着として幅広く使用され、冬の雪や風から体を守るために肩から背中にかけて着用します。



ふかぐつ

冬の防寒用につくられた靴。現在の長靴のような形状で、雪の進入を防いでくれます。

ふみだわら

両足に履いて、降り積もった雪を踏み固めて、道を作る道具。



わらてぶくろ

わらの性質を生かしたつくりで、通気性と保温性を兼ね備えています。



箱ぞり

冬に子どもや荷物を載せる木製のそり。箱の下に二本の板があり雪の上を滑らせて使います。







**■ 新庄市農業協同組合ゆきむろ新庄かむろ倉庫**  
約1,000トンの圧縮した雪を格納し、雪の冷気を利用して、室温を摂氏14℃、湿度70%に保ちます。米や野菜の貯蔵のほか日本酒やそばなどの低温貯蔵庫としても活用されています。

冬期間に降り積もった雪を一カ所に集積することで、低温の大型貯蔵庫として活用しています。環境に優しいクリーンエネルギーの活用として注目されています。

**■ クリーンエネルギーを活用**  
雪の中は、温度が零度に保たれ、湿度は一〇〇%。野菜の貯蔵には最高の環境で、大根や白菜などは水分を吸ってみずみずしさを増します。また、低温に耐えるため野菜の自衛本能が働き、でんぷんを糖分に変え、甘みのある新鮮な野菜として保存することができます。

**■ 野菜を雪中保存**  
知恵や知識は、わたしたちの生活のなかに生かされています。

**雪を生きかす 環境に優しい クリーンエネルギー**



**◆ 雪は大きな冷蔵庫!**  
伊藤 智春さん(飛田)  
「自宅近くの畑に秋・冬の野菜、大根やカブなどを保存しています。野菜が必要なときに雪を掘って野菜をとりだしているの、大きな冷蔵庫のように使っています。収穫したてのような新鮮さとみずみずしさを味わうことができます。昔の人の知恵を受け継いで、環境にもやさしいので子どもたちにも伝えていきたいですね」



**◆ 雪国の楽しさ伝えたい!**  
菅原 富喜さん(堀端町)  
「わたしたちの自治会では、毎年、堀端スポ少保護者会と御堀端子子育て会と共同で“おさいど”を実施しています。昔は正月の行事としてどこでも行われていたものですが、時代の移り変わりで、少なくなっているように思います。雪国文化のひとつとして大切に引き継いでいきたいです。わたしは自治会とは別の団体で、冬山のかんじき登山も実施しています。毎年、市内外から多くの人に参加していただき、交流を図っています。雪は、厳しさだけでなく楽しさを与えてくれるもの。雪の楽しみ方も多くの人に伝えたいです」



**■ 市道・私道(生活道路)除排雪事業**  
道路交通と歩行者の安全確保のため市道および私道の除排雪事業を実施しています。  
除雪車は、午前三時現在の降雪量が十センチ以上の場合に出動し、市道は午前七時三十分までに作業が完了するよう努めています。  
二十年度の市道の除雪路線の総



市では、道路の除排雪や流雪溝の整備、一人暮らし老人世帯の雪下ろし事業などの雪対策事業を総合的に、雪に強いまちづくりを進めています。

**雪と闘う 市が実施する 主な雪対策事業**





## 第38回 新庄雪まつり

雪が造った遊園地

～楽しくあそんで・きれいに飾ろう～

- とき 2月14日(土)午前10時～午後8時  
15日(日)午前9時～午後4時
  - ところ ふるさと歴史センター隣り広場一帯
  - 内容 14日午後4時～/オリジナルヒーローショー、午後6時～/アイスキャンドルナイト・バレンタインコンサート・雪上花火・御祭燈、15日/スノーボールバトル・キャラクターショー、14・15日/雪上運動会(相撲・障害物競走・大かると・じゃんけん・ダルマさんが転んだなど)
- ◎詳しくは、雪まつり実行委員会(新庄商工会議所内)へ。 ☎22-6855



## 新庄雪まつり前夜祭 2009

- とき 2月13日(金)午後3時～5時45分
  - ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
  - 内容 歌と踊りのついで、市内認証保育所の子どもたちのおゆうぎ、雪像・六地藏への火入れ式、納豆汁の振る舞いなど
- ◎詳しくは、ノスタルジックSL庫フェスティバル実行委員会へ。 ☎22-2340



雪には、さまざまな楽しみ方があります。子どもたちは、雪だるまづくりやそりのりなどを楽しめます。スキーやスノーボードなどを楽しむことができるのも雪国の魅力です。雪まつりなどの催しでは、多くの市民が雪を楽しんでいます。



▲雪上かるた(雪まつり会場)



▲大型滑り台でタイヤチューブ滑りを楽しむ子どもたち(雪まつり会場)



▲毎年2月11日(祝日)に開催される市民スキー大会(市民スキー場)



▲スノーボードを楽しむ若者たち(市民スキー場)



▲凧あげも雪国の楽しみのひとつ。童心に帰って楽しむ隠明寺凧保存会のみなさん



▲学校のグラウンドでそりのりを楽しむ子どもたち(日新小学校)

## ◆ 雪だ～い好き!

須藤 陸くん(日新小学校1年)



「冬は、少し寒いけど、雪遊びができるので大好きです。友だちと雪だるまをつくったり、そり遊びをしたりするのがとても楽しいです。

お父さんと一緒にスノーボードにも行っています。もっと練習してうまくなりたいです」



出しています。

高年齢者住宅の除雪や通学路の確保など公的な除雪を行う場合に貸し

### ■ 小型除雪機の貸出し

町内会などの団体を対象に小型除雪機の貸し出しを行っています。

通水を行っています。

の水不足解消のため、指首野川の水位が基準を下回った場合、最上川から取水し農業水利施設を活用した

### ■ 流雪溝整備・通水事業

延長は約二百二十八キロ、私道の延長は約四十一キロ(三百三十六件)の除排雪を実施しています。



▲第1回新庄最上地域合併協議会(1月13日/市民プラザ)

# 新しいまちづくりの 協議が始まりました

一月十三日、新庄市、真室川町、戸沢村の三市町村による「新庄最上地域合併協議会」が開催され、合併協議会委員の委嘱や合併協議の進め方などが承認されました。「地域が輝くまちづくり」を目指し、具体的な協議が始まりました。

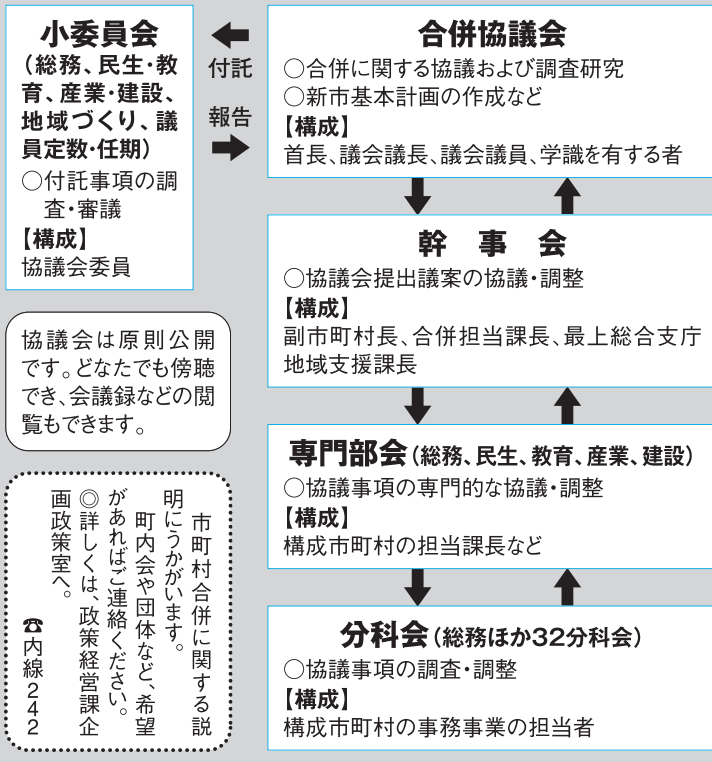
## 法定協議会の内容

一月十三日、法定協議会である「新庄最上地域合併協議会」が設立されました。

任意協議会と違う点は、住民の代表が委員として参加(各市町村六人)していることと専門的な事項の調査・審議のために小委員会を設置していることです。市からは、下記の人たちが委員として参加し、各小委員会にも所属しています。

第一回協議会では、組織の設置や事業計画、予算について議決しました。第二回協議会では、具体的な協定項目を協議し、**合併方式は「新設(対等)合併」と議決**され、新市の名称など十七項目が小委員会へ付託されました。また、三月下旬までの協議内容に基づき、各市町村で住民、議会に説明し、合併についての最終判断を行うことが確認されました。

## 合併協議会の組織図



## 合併協議会委員(市選出委員)

| 役職名                                    | 氏名    | 担当小委員会            |
|--|-------|-------------------|
| 市長                                     | 山尾 順紀 | (会長)              |
| 市議会議長                                  | 平向 岩雄 | 総務<br>議員定数・任期等    |
| 市議会議員                                  | 清水 清秋 | 産業・建設<br>議員定数・任期等 |
| 市議会議員                                  | 今田 雄三 | 民生・教育<br>地域づくり    |
| 住民代表(農業)                               | 石川 正志 | 産業・建設<br>地域づくり    |
| 住民代表<br>(市区長協議会副会長)                    | 佐藤 太郎 | 民生・教育<br>議員定数・任期等 |
| 住民代表<br>(NPO法人子育てネットワーク<br>バルボンさん代表理事) | 高山恵美子 | 民生・教育             |
| 住民代表<br>(市振興計画審議会委員)                   | 田口八重子 | 総務<br>地域づくり       |
| 住民代表<br>(新庄駅前通り商店会理事長)                 | 茅野 博  | 総務                |
| 住民代表<br>(もがみ物産協会常務取締役)                 | 津藤真知子 | 産業・建設             |
| 市代表監査委員                                | 高山 孝治 | (監査委員)            |



## 市町村合併協議Q&A

### Q 協議会では何を協議するのか？

**A** 新市の名称、庁舎の位置などの基本的事項や組織構成、新市基本計画などを含んだ五十九の協定項目や住民サービス等に関する事務事業（一、二〇〇項目）の調整など、合併に関するすべての事項を協議します。

### Q 三市町村で行政サービス水準が違つものの調整は？

**A** 新市一律の内容に移行することを基本に、大きく異なるものは必要に応じて経過措置を導入します。公共料金、使用料などは、可能な限り低い水準となるよう努めますが、将来の住民負担や財政負担を招かないよう適正な水準の確保を図ります。

### Q 新市の名称や庁舎は？

**A** 新市の名称は、構成する市町村住民の意向を踏まえた名称とし、具体的な選定方法は協議会で検討します。新市の本庁舎は、現在の三市町村庁舎の中から決定し、本庁舎以外の旧市町村庁舎も活用します。

### Q 議員の定数や任期は？

**A** 議員は合併により失職しますが、新合併特例法により「定数特例」「在任特例」制度があり、その取り

扱いを協議会の「議会の議員定数、任期等に関する小委員会」で協議します。

### 【定数特例制度】

合併後五十日以内に選挙を実施します。最初の任期のみ、合併市町村の議員定数（法定上限）の二倍まで増やせます。

※合併後の議員定数（法定上限）

………三十人

### 【在任特例制度】

合併前の市町村議員が最長二年間、在任が可能となります。

※現在の三市町村の議員定数

………四十二人

### Q 新市基本計画とは？

**A** 合併後のまちづくりを総合的、効果的に行っていくための基本方針を定め、新市の円滑な運営と住民福祉の向上を図ることを目的として策定します。まちづくりの基本方針、新市の施策、新市における事業、公共施設の適正配置、財政計画などで構成されます。

### 【計画期間】

二十二年度～三十一年度（十年間）

### Q 新庄市のメリットは？

**A** 一般的な合併のメリットは、  
● 住民の利便性の向上

- 高度で専門性の高いサービスの提供
- 重点投資や大型プロジェクトの推進
- 広域的な視点に立ったまちづくり
- 行財政基盤の強化が挙げられます。

新庄市のメリットは、

○ 新庄市だけでは対応できなかったサービスの高度化、多様化への対応が可能となります。

○ 規模・人員が大きな組織になれば、専門職や組織の設置が容易になり、福祉・医療関係、建築・土木関係などの専門職や危機管理、国際交流、IT推進、まちづくりなどの専門部署を設置することができサービスが充実します。

○ 新庄市単独で対応できない重点的な公共投資、大規模な投資を必要とするプロジェクトの実施が可能となります。

○ 小規模自治体では職員が多くの事務を兼務していますが、合併すれば兼務が減り一定の事務に専念でき、職員の政策形成能力の向上が期待できます。

○ 行政管理部門の一本化や委員会職員の減員など行財政の効率化による行財政基盤が強化されます。

○ 国、県による財政支援、事業の優先採択、予算の重点配分を受けられます。

## 各市町村の概況

| 区分   | 人口                        | 高齢化率    | 総面積                     | 財政規模        | 議員定数(法定上限) | 職員数                                   |
|------|---------------------------|---------|-------------------------|-------------|------------|---------------------------------------|
| 新庄市  | 39,881人                   | 24.3%   | 223.08km <sup>2</sup>   | 134億4千万円    | 20人(26人)   | 一般行政244人／特別行政72人<br>公営企業等45人／合計361人   |
| 真室川町 | 9,753人                    | 30.5%   | 374.29km <sup>2</sup>   | 52億2千万円     | 12人(22人)   | 一般行政99人／特別行政33人<br>公営企業等59人／合計191人    |
| 戸沢村  | 5,695人                    | 30.1%   | 261.25km <sup>2</sup>   | 35億5千万円     | 10人(18人)   | 一般行政74人／特別行政19人<br>公営企業等9人／合計102人     |
| 合計   | 55,329人                   | 26.0%   | 858.62km <sup>2</sup>   | 221億千万円     | 42人(66人)   | 一般行政417人／特別行政124人<br>公営企業等113人／合計654人 |
| 備考   | 山形県の人口と世帯数<br>(19.10.1現在) | 17年国勢調査 | 19年全国都道府県市町村別面積調(国土地理院) | 19年度普通会計決算額 | 20年4月1日現在  | 19年4月1日現在                             |



### 人との出会い、人とのつながり

【建築大工】伊藤 守さん(円満寺)

「子どものころから大工仕事のような“ものづくり”が好きでした。独立してから約40年、自分がしてきた仕事には誇りを持っています。この町で仕事をするからには、信用が第一であり、変なことはできません。

わたしは設計もするので、お客さんの要望を直接聞いて細かいことまで打ち合わせ、悩んでいる時にはアドバイスをしながら、お客さんが納得のいく仕事をしようと心がけています。

お客さんの家ですが、自分の作品でもあるので恥ずかしい仕事はできません。住む人の気持ちになって、良い材料を選び、労をいとわずひと工夫もふた工夫も加えて、満足していただける家を建てるように努めています。

これまで仕事をしてきて、お客さんをはじめ、板金屋さん、建具屋さんなどいろんな人とめぐり合い、助けられて今の自分がいます。人とのつながり、輪がわたしの財産であり、宝物です」と語る伊藤さんは、日本の在来工法である入母屋造りを最も得意とし、和風建築に高度な知識と熟練した技能を持っています。現在は、新庄最上建設総合組合副理事長として日本の在来工法の良さを残していきたいと、若年技術者の確保・育成にも尽力しています。



### 古来の技法をひと工夫

【建具工】清水 勝美さん(本合海)

「父親がこの仕事をしていたので、家業を継ぐのがあたりまえと思ってこの仕事を始めました。修業時代は何から何まですべて手作業でしたので、建具の基礎をきっちり学ぶことができました。

この仕事で一番大変であり技の見せ所は、組子物を作るために削り出した木をピタリと合わせることです。複雑なデザインであればあるほどちょっとしたズレが、建具全体に影響をおよぼします。また、木の特性を良く知っておかないと、良い建具ができません。

今は、洋風建築の中でも和室があるという家も多く、洋風の建物の中で、洋と和の空間を結ぶのが建具です。その家の全体を見て、バランスを考えながらそれぞれが生きると、調和が取れた建具を作ろうと心がけています。

日本古来の住宅がだんだん少なくなってきましたが、これからも、昔ながらの建具の技法に自分なりの工夫を加えて、お客さんから喜ばれる仕事をしていきたいと思えます」と語る清水さんは、木製建具製作において、組子入りの建具、特に真っすぐな木を曲げて作り出す曲子細工に優れた技能を持ち、その仕事には高い評価を得ています。



## 建築物耐震改修促進計画を策定

◎都市整備課建築住宅室 ☎内線521



▲新潟中越地震により倒壊した家屋  
(16年10月/写真提供・最上広域消防本部)

市は、住宅・建築物の耐震化の促進に関する計画として、「新庄市建築物耐震改修促進計画」を二十年十二月に策定しました。

**【目的】**  
市民の生命や財産を保護するため、地震による建築物の倒壊などの被害を最小限に抑え、既存建築物等の耐震性向上策として、県と市が連携して耐震診断および改修などを総合的・計画的に促進することを目的としています。

**【期間】**  
二十年度～二十七年年度

**【対象とする建築物】**  
①昭和五十六年以前に建築された住宅  
②耐震改修促進法第六条に定める特定建築物(民間施設)  
③防災活動拠点施設等となる市有施設を含む建築物

### 【目標値の設定】

●住宅の耐震化率：九〇%

●市有建築物のうち学校・庁舎福祉施設等の耐震化率：一〇〇%

学校、庁舎などの重要な市有公共施設や市域防災計画での収容避難所を優先して耐震化していきます。

### 【主な建築物耐震化促進の支援策】

昭和五十六年以前に建築された木造住宅の耐震診断を行う所有者に対し、国の補助事業を活用した事業を推進します。

### 【耐震化の促進に関する普及策】

耐震化に関する相談窓口を設置し、耐震診断・耐震改修の工法や依頼先など広く情報を提供していきます。

建築物の耐震化に活用できる補助制度や融資制度の周知に努めます。

県と連携し、耐震診断・改修の技術者向けの講習会や住民向けの説明会などの出前講座を実施します。  
※この計画は、市ホームページや都市整備課でご覧いただけます。

### ◎住宅の耐震相談・耐震改修に関する相談窓口

市／都市整備課建築住宅室

☎内線524

県／最上総合支庁建築課

☎29-1419



いきいき  
新庄人

山形のプロサッカーチームを  
みんなで応援しよう!

モンテディオ山形・サポーター  
城水 秀朗さん(川西町)



「2001年、父が以前から応援していた、モンテディオ山形の試合を一緒に見に行ったことがきっかけです」と語る城水さんは、プロサッカーチーム・モンテディオ山形のサポーターとして、モンテディオの試合には欠かさず駆け付けています。

「サッカーは、体育の授業でしかしたことはなかったのですが、プロのサッカーを初めて生で見たときはとても興奮し、すぐにサッカーの魅力に取り付けられてしまいました。

試合中の2時間は、大声を出しっぱなし、跳びっぱなしで応援します。試合に勝った時やゴールを決めた時のスタジアムの一体感は、体中の血がわき立つような興奮を覚えます。昨年は、ホームの試合はもちろん、愛媛や徳島、大阪などにも応援に行きました。監督や選手から「サポーターの応援が選手の力になっている」と言われ、わたしたちの応援が勝利に結びついていると思うと、応援にも力が入ります。

モンテのサポーターとしていろいろな人と知り合うことができました。仕事や世代が違う人たちが、『モンテディオを応援する』ことだけで結びつき、選手の動きに一喜一憂し、ともに笑い、ともに泣く、これも魅力の一つです。

スタジアムが近くにないので、気軽に応援に行けないのかもしれませんが、まつり好きの新庄のみなさんならば絶対に楽しめると思います。今年からJ1に昇格する“わたしたち山形県のプロサッカーチーム・モンテディオ山形”をみんなで応援しましょう」と語る目は熱く輝いていました。



自分たちが暮らすこの街をもっと楽しく  
新庄ミニFM発起人会「FM FLOWER」

FM FLOWER(FM フラワー)は、二〇〇二年九月に、インターネットの掲示板を通じ「新庄市内でFM局でもやろうか?」という言葉を発端に、五人ほどの有



▲Webラジオ「広報しんじょう」収録  
(1月30日/FM FLOWERスタジオ)  
◎FM FLOWERホームページでWeb番組放送中(無料)。http://www.fmflower.net

志が始まりました。スタッフが、自分たちが暮らすこの街をもっと楽しくしたいとの思いを胸に、紆余曲折をしながら、それぞれができる範囲で頑張っています。

現在、FM FLOWERのメンバーは十五人。その職業は、会社員、自営業、公務員、主婦などさまざまで、年齢も二十代から五十代までと幅広く、市内に限らず最上郡内からも参加しています。

活動拠点となるスタジオは、二〇〇三年一月に北本町商店街の空き店舗に設けました。スタジオでは、FMラジオ放送番組の収録や編集、打合せ、フリーペーパーの編集作業や、インターネット放送番組の撮影などを行っています。

活動拠点となるスタジオは、二〇〇三年一月に北本町商店街の空き店舗に設けました。スタジオでは、FMラジオ放送番組の収録や編集、打合せ、フリーペーパーの編集作業や、インターネット放送番組の撮影などを行っています。

わたしたちの活動が評価され、I-T(情報技術)を利用して地域活性化に先進的に取り組んでいる事例を表彰する「日経地域情報化大賞二〇〇六」(主催 日本経済新聞社、後援 総務省・経済産業省)で、全国の活動事例約一〇〇件の中から佐賀県知事賞(表彰式開催地)を受賞しました。また、市との協働によりWebラジオ「広報しんじょう」を放送するなど、少しずつではありますが活動の幅も広がっています。

今後も、わたしたちの気持ちを電波やインターネットに乗せ、さまざまな話題・情報をお届けしていきますので、温かい目で見守っていただければと思います。みなさんも番組づくりに参加してみませんか?

いきいき  
企業

山形東亜DKK  
株式会社  
(福田)



当社は、東亜ディーケーケー株式会社(本社・東京都/東証一部上場)のグループ会社です。一九九〇年に設立されて以

来、主力生産拠点として成長してきました。現在ではグループ全製品の六十%以上について、部品調達から製造・出荷、品質保証に至るまで一貫した生産を行っています。

生産している主な製品は、地球環境を守る「計測器」です。工場廃水や下水の処理、水道水や河川などの水質汚濁、大気汚染、工場排煙などの各種モニターなどに使われています。

社員は総勢一〇八名ですが、九十%以上が地元出身者で、「誠実・創造・挑戦」の社是のもと、山形県、山形大学との産学官共同によるUSB方式による測定器の開発(ホームページ: www.ydkk.comにて発売中)など、オリジナル商品の開発にも意欲的に取り組んでいます。

来年、創業二十周年の節目を迎えますが、社長以下社員一同さらに地域に貢献できる企業を目指して邁進していきたいと考えています。

# 新聞録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲新世紀を翔ける新春市民の集い(1月5日/市民プラザ)



▲消防団出初め式で分列行進を披露(1月11日/駅前通り)



▲市民スキー場オープン  
(3月1日まで/市民スキー場)



▲新春初おどりと餅つき大会  
(1月4日/ゆめりあ)



▲新庄最上清掃事業組合から市に寄付  
(1月21日/市役所)



▲新庄ロータリークラブから市に図書寄贈  
(1月29日/市役所)

## 新春市民の集い

新庄市民新年祝賀会「新春市民の集い」を開催しました。オープニングでは、南部保育所の子どもたちが「南部龍神太鼓」を元気に披露。コーラスグループの「コールあじさい」のリードで市民歌を斉唱しました。市長あいさつや功労者表彰などの式典のあと恒例の餅つきなどで、新年を祝いました。

## 消防団出初め式で決意新たに

市内の消防団員や最上広域消防本部職員、市の関係者など総勢470人が参加して、恒例の消防出初め式が開催されました。寒空のなか団員たちは駅前通りで整然とした分列行進を披露。市役所前では消防車6台を連ねて新年祝賀放水を行い、参加者たちは、地域の防災を担う決意を新たにしました。

## 新春初おどりと餅つき大会

おどりと餅つきで新年を祝おうと、SL庫フェスティバル実行委員会が新春初おどりと餅つき大会を開催しました。新庄民舞リボンの会があでやかに舞いを披露し、会場では、つきたての餅が振舞われました。集まった人たちは餅を味わいながらおどりを楽しみ、新しい年の門出を祝いました。

## 市に善意の寄付

【寄付金】新庄最上清掃事業組合の創立30周年を記念し、市政運営に役立ててほしいと10万円を寄付していただきました。【大型絵本】新庄ロータリークラブから、子どもたちに本に親しんでもらいたいと大型絵本7冊を寄付いただきました。【お手玉・ぞうきん】高桑末子さん(谷地小屋)と相馬スミ子さん(谷地小屋)から福祉施設で使ってもらいたいと手作りのお手玉200個とぞうきん100枚をいただきました。





## 響き合う歌声

新庄少年少女合唱団第18回演奏会が開催されました。今年度は、新庄市子ども芸術学校の一環として練習を重ね、合唱のほかオペレッタも披露。新庄吹奏楽団ジュニア部と市内の小学校合唱部による友情出演もあり会場は子どもたちの元気な歌声につつまれました。

## 親子で楽しくふれあおう!

新庄・最上地域で活動する子育て関係の団体が組織する“もがみ子育てネットワーク”と最上総合支庁福祉課が、親子のふれあいを通して心も体も温まってもらおうと「あきらちゃん＆ラーメンちゃん親子ふれあいコンサート」を開催しました。会場には多くの親子連れが集まり、「あきらちゃん＆ラーメンちゃん」の歌や踊りに合わせて親と子が楽しみながらふれあいを深めました。

## 春の新庄を彩るおひなさま

第26回新庄のひなまつり展を開催しています。最上川の舟運によって運ばれたとされる日本最大級の享保雛や古今雛の段飾り、土人形など約1,200点を展示しています。ひなまつり展は4月3日(金)まで。春の新庄を彩るおひなさまをぜひご覧ください。

## 新庄の花は素晴らしい!

新庄市内の若手花き生産者と花店、種苗店の有志により結成された「花まるプロジェクト(代表・吉田浩司さん)」。栽培技術研修だけでなく花育など、さまざまな活動を行っています。今回は、フラワーソムリエ・金藤公夫さんを迎えてフラワーアレンジメントのデモや、東京の花店・川口信也さん、ライター・高倉なをさんなど、花にかかわる各分野で活躍する人を講師に招き、花の素晴らしさを広く紹介しました。



▲新庄少年少女合唱団第18回演奏会(1月31日/市民文化会館)



▲あきらちゃん＆ラーメンちゃん「親子ふれあいコンサート」開催(2月1日/市民プラザ)



▲4月3日まで「新庄のひなまつり展」開催中(ふるさと歴史センター)



▲市とNPO法人オープンハウスこんべいどうが協働事業で「わらすこまつり」を開催(1月25日/わらすこ広場)



▲花まるプロジェクト2009で、新庄で生産された花を使ったフラワーアレンジメントを披露(1月31日/ゆめりあ)



▲フードジャーナリスト・向笠千恵子さんを講師に新庄商工会議所が市民公開講演会を開催(1月31日/市民プラザ)



# ら・せ

イベントや行政案内など  
まちの情報を紹介するページです

子育てなんでも相談会  
○2月21日(土)午前10時～正午  
○わらすこ広場  
○対応/家庭教育支援チーム  
◎生涯学習課 ☎内線461

## 社会教育施設 運営審議会等の委員募集

平成21年度・22年度の社会教育施設運営審議会等の委員を募集します。  
○募集委員 社会教育委員(1名)、市民プラザ・わくわく新庄運営審議会委員(2名)、雪の里情報館運営協議会委員(1名)、ふるさと歴史センター運営協議会委員(1名)、市民文化会館運営審議会委員(1名)  
○応募方法 公募委員申込書を提出(募集要項・申込書は各施設にあります。市ホームページからもダウンロードできます)  
○応募期限 2月26日(木)まで  
◎詳しくは、生涯学習課へ。 ☎内線461

## 新庄市子ども芸術学校 第7回 ちゃれんこ公演

○とき 2月22日(日)午後2時開演  
○ところ 市民文化会館 大ホール  
○内容 第1部ダンス、第2部創作劇「その後の日本昔話～あれから30年…ヒーロー達の物語」  
◎入場無料です。詳しくは、市子ども芸術学校事務局(市民プラザ)へ。 ☎22-4200

## 雪まつり協賛事業 ほっとステーション

○とき 2月14日(土)午前11時～午後8時、15日(日)午前9時～午後4時30分  
○ところ 市民文化会館グランドホール  
○内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演、温かいスープ・ドリンクの販売など  
◎詳しくは、市民文化会館へ。 ☎22-7029

▼対象 20歳以上で電話やインターネットなど電気通信サービスに関心のある人  
▼内容 アンケート調査、モニター会議など  
▼任期 6月～22年3月  
▼応募方法はがき・ファクスで

## 平成21年度電気通信 サービスモニター募集

☎023-685-80033

## 山形県看護協会

▼対象 看護職希望の高校生  
▼体験施設 5月12日(火)/県立新庄病院(16人)、5月13日(水)/新庄徳洲会病院(10人)  
▼申し込み 2月16日(月)～26日(木)  
病院で患者さんとのふれあいを通して、医療や看護について考えてみませんか。

## ふれあい看護体験 参加者募集

## 21年度新庄市交通災害共済

交通災害共済は、市民の皆さんが会費を出し合い、交通事故にあった場合に見舞金を支給する「たすけあい」の制度です。  
○年会費 大人350円、中学生以下300円  
○申込用紙 3月上旬に区長を通じて全戸配布します。  
◎詳しくは、環境課消防交通室へ。  
☎内線436

## 雪への備えは出来ていますか?

- 井戸ボーリング工事
- 井戸水を利用した消雪工事

ご相談、お見積りは無料です!

## 株式会社アイテック東北

山形県最上郡最上町大字志茂265 ☎0233-44-2657

## すぽーていあ 定期使用の調整会議

☎内線262

## フランス料理教室 「フランチコース」

☎090-5834-5870

## 亀馬山かんじき登山 参加者募集

☎23-3008

## 体験農園 みそづくり教室

▼とき 3月7日(土)午前10時～午後3時、8日(日)午前10時～11時  
▼ところ 本蔵四季の家  
▼参加費 2,000円(製品量約7kg)  
▼定員 先着75人  
▼申し込み 2月19日(木)午前8時30分から農林課へ  
※1人1口限定です(家族参加の場合も1口)。  
☎農林課農林振興室

## 県産牛乳を使った 親子料理教室

▼対象 新庄・最上地域の小学生と保護者(先着20組)  
▼とき 2月22日(日)午後1時40分～4時  
▼ところ 市民プラザ調理室  
▼講師 佐藤千津子さん  
▼持ち物 エプロン、三角巾、内履き(低学年の子ども)  
▼参加費 無料  
☎新庄ベンチャークラブ・樋渡

## 新庄市身体障害者福祉協会 スポーツ講習会

▼とき 3月12日(木)午前9時30分～11時30分  
▼ところ 市民プラザ和室  
▼内容 その場でできるストレッチと身近な物を使った簡単運動  
▼講師 訪問介護員 伊藤操さん  
▼定員 30人  
▼申し込み 3月9日(月)まで  
☎新庄市身体障害者福祉協会

音楽も英語もヤマハ  
**ヤマハいいこう!**

春の体験スペシャルウィーク2/22スタート

体験レッスンのお申し込みはHPで  
こどもヤマハ 検索

携帯サイトはコチラ

1歳 おもちゃばこ  
2歳 赤りんご  
3歳 おんがくなかよし  
4-5歳 幼児科  
小学生 ジュニアステップ基礎

1歳 えいごでいっしょ  
2歳 リズムでえいごホップ  
3歳 リズムでえいごジャンプ  
4-5歳 えいごではなそ  
小学生 1・2年生英語基礎 3・4年生英語基礎

Tazawa 音楽センター ☎22-2757 お気軽にお電話ください。





盆栽展

○2月20日(金)~23日(月)  
○ゆめりあ花と緑の交流広場  
◎新庄盆栽愛好会・小林 ☎22-0519

2月のお・知

相談・催し

3月の市・県民税申告相談

3月16日までの申告期間中は、担当職員(申告資料も)が申告会場にいくため市役所での申告相談はできません。どうぞご協力ください。また、3月10日~16日は大変混雑が予想されます。申告は早めに済ませましょう。

- 会場 市民文化会館小ホール
  - 受付時間 午前9時~午後3時
  - 2日(月) 梅ヶ崎、一本柳、中山、本町、堀端町
  - 3日(火) 太田、荒小屋、高壇、北新町、北新町団地
  - 4日(水) 木栄町、栄町、落合町、冷水沢、小泉
  - 5日(木) 住吉町、上西山、滝ノ倉、沖の町
  - 6日(金) 北町、万場町、円満寺町
  - 9日(月) 小月野、月岡、西町、川西町
  - 10日(火) 東本町、沼田町、中山町
  - 11日(水) 上・下山屋、常葉町
  - 12日(木) 石川町、明倫通り、三本橋
  - 13日(金) 茶屋町、上茶屋町、中道町
  - 16日(月) 宮内町、東天町、新町、千門町
- ◎詳しくは、税務課課税室へ。  
☎内線142・143

ぶらっとオープンカフェ

- とき 2月21日(土)午前10時~正午
  - ところ 市民活動交流ひろばぶらっと
  - 内容 ぶらっとの紹介、まちづくりや市民活動についての情報交換や交流など
- ◎参加無料です。詳しくは、ぶらっと ☎23-6211、Eメール plat@ic-net.or.jp

第21回 新庄市高齢者友好の旅

- とき 6月15日(月)~17日(水)
  - 行き先 阿蘇山・草千里、内牧温泉、熊本市水前寺公園、熊本城、普賢岳、長崎市出島、平和公園、グラバー園など
  - 料金 88,000円 ●定員 先着45人
  - 申し込み 4月10日(金)まで申込金(10,000円)を添えて各クラブの会長または役員へ
- ◎詳しくは、新庄市老人クラブ連合会へ。  
☎23-4613

☎0237-48-1151  
問 神町駐屯地広報班

☎023-631-0761  
問 消防試験研究センター

☎023-624-8228  
問 山形労働局雇用均等室

☎22-0110  
問 新庄警察署

☎0221-221-0628  
問 東北総合通信局電気通信事業課

☎023-687-5333  
問 県身体障害者福祉会館

☎29-1397  
問 最上総合支庁道路計画課

「神町自衛隊生活体験入隊 参加企業を募集します」  
▼対象 2人以上の団体  
▼とき 21年4月~7月  
▼ところ 神町駐屯地  
▼内容 社会人を対象にした自衛隊での生活体験など  
▼申し込み 2月20日(金)まで  
▼参加費 無料(食事代、光熱費などは実費負担)

「無料相談 「障がい者なんでも相談室」」  
▼とき 平日の午前9時~午後5時  
▼ところ 県身体障害者福祉会館内(山形市大森385)  
▼相談員 弁護士(法律相談)、社会福祉士(一般相談)  
▼相談方法 電話、手紙、ファクス、来所相談

「事業主の皆さんへ」一般事業主行動計画の策定について  
次世代育成支援対策推進法では、労働者数300人以下の企業は、次世代育成支援のための「一般事業主行動計画」を策定する努力義務があります。(301人以上は義務)  
法改正により、平成23年度からは101人以上300人以下の企業でも義務化されます。

「道路わきの立木は大丈夫ですか?」  
例年、強風や降雪などにより、立木が路上に倒れたり、枝折れによる通行車両の破損などの事故が発生しています。  
立木の所有者も責任を問われることとなりますので、危険な立木や枝葉は早めに伐採しましょう。

「危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの皆さまへ」  
消防法令では、免状に貼られた写真は、10年以内に撮影されたものとされています。  
まだ写真の書き換えをしていない人は、速やかに手続きをしてください。

「冬期間の交通安全 違法駐車をなくそう」  
違法駐車は、緊急車両や除雪の妨げになるほか、交通渋滞の原因になったり、歩行者の死角になり事故の原因になります。駐車禁止の道路では駐車場を利用し安全な道路環境をつくります。

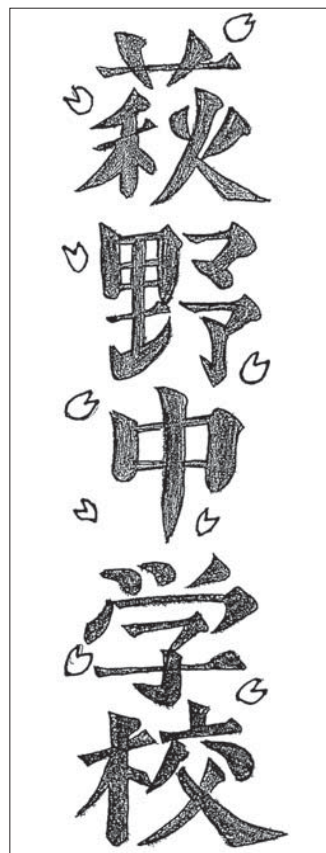
応援します! 在宅介護

- 福祉用具レンタル事業  
福祉用具を必要な期間お貸しするシステムです。経済的にご利用いただけます。
- 住宅改修事業  
長年住み慣れた家で安心して生活していただけるように、身体状況に合わせて、バリアフリー仕様への改修の相談・施工を承ります。  
公的補助金(上限20万円)の申請等につきましてもアドバイス致します。

- 福祉用具販売事業  
搬入時の設置や取扱い方法のご説明からメンテナンスなどにも迅速に対応致します。
- 患者搬送事業  
車椅子やベッドのまま、病院の通院、入院、退院、介護福祉施設などへの移送、また、旅行などにも送迎いたします。お気軽にご相談下さい。  
▲福祉タクシー利用券・重度身体障害者移送サービス事業もご利用いただけます。



株式会社 医療救急サービス  
〒996-0026 新庄市大町2-26  
フリーダイヤル ☎0120-64-1199  
http://www.3ic-net.or.jp/~sheep/index.html



題字 3年 伊藤 柊輝

萩野中学校向上計画

三年 奥山 莉菜

わたしたちは「学力」と「体力」の向上に取り組んでいます。

まず「学力向上」です。学芸委員会主催の五教科クイズマッチがあります。問題は一〜三年生共通。例えば、英語なら数字・月・曜日、国語なら小学校の漢字などが出題されます。事前に練習プリントが渡され、一〜三年生七クラスで平均点を競うので、どのクラスも必死に勉強します。教え合ったりして、みんなで合格を目指します。個人の学力アップだけでなく、クラスの国語力なども深まるのです。



もう一つは「体力向上」です。十一月から一期がスタートします。冬季の体力維持や五月の駅伝大会を目指し、朝二十分のトレーニングをしています。参加者は希望して集まった、目的を持った人たちです。これを始めて、萩中は駅伝でも上位入賞をすることができるチームになりました。

「合唱」を伝統に

三年 叶内 美沙

「あなたの学校の自慢は？」と聞かれたらたくさん出てきますが、その中でも「合唱」は特に高く評価できるものだと思っています。

合唱と言っても、萩野中学校の合唱は他の学校にはないものを持っていると思います。「顔で歌うことができる」合唱なのです。



今年の合唱「ンクール」は心まで響くものでした。その理由は、「歌声がきれい」だけではなく、「歌っているみんなの「表情」だったのです。一人ひとりが歌でメッセージを伝えようとしているように見えました。歌は「歌つ」のではなく「伝える」ものだ。とあらためて感じた瞬間でした。わたしたちの合唱を聞けば、わたしが言った「伝える歌」の意味をわかしてもらえると嬉しいです。

地域と交流を深める活動

三年 齋藤 貴文

ぼくたちの学校では、生徒会の「あいさつ運動」を通して、一人ひとりが、地域のひととの交流を深めることを目指しています。また、「ボランティア活動」を通して、地域に貢献しています。

朝の「あいさつ運動」によって、学校全体からあいさつの大切さを広めています。あいさつによって、下学年の人も上学年のひととの交流を深めることができるようになっていきます。その輪が校外にも広がり、地域のひとたちとあいさつができる人が増えてきました。



「ボランティア活動」では、ぼくたちと保護者、地域のひとたちで行うボランティアと、駅や国道沿いを清掃する全校ボランティアを年間数回行っています。これからも、より多くのひとと交流ができる学校を目指したいと考えています。

わたしたちが編集しました!



▲萩野中学校生徒会執行部3年9名

郷土の歴史

ひとくち新庄市史

②3 新庄城築城

元和八年(一六二二)、新庄領六万石を賜った戸沢氏は、翌年七月に常州松岡(現茨城県高萩市)から新庄に移った。新庄領に入った戸沢政盛(新庄藩初代藩主)は、ひとまず真室城に落ち着いた。

寛永元年(一六二四)八月、政盛は幕府に対して、郡内の新庄・清水・升形の三古城のいずれかに城を築き直したい旨を幕府に願い出、その許可を得て新庄、日野将監の居館跡に居城を定めた。新庄城の縄張り(設計は政盛の義兄(正室・巨川院の兄)の山形城主・鳥居忠政が行ったものである)とい、寛永二年に完成した。

築城当時の規模や形状は明らかでないが、後の記録などから推察すると、東西五十二間、南北一二十七間の区画を本丸とし、周りに土手と堀を巡らし、その三隅に二層の隅櫓を築き、中央奥(現在の戸沢神社社務所辺り)には三層の天守閣があった。しかし、寛永六年および同十三年に火災に遭い、二度とも城はまもなく再建されたと思われるが、寛永十三



～図書館はオアシス～

# BOOKS NOW!

今月のおすすめ

## 『大人のなぞなぞ絵本 「日本名画」ミステリー 310』

講談社／編

国宝・重要文化財から浮世絵・風俗画まで、日本の絵画からわかる時代と歴史の「なぞ」。天皇の相撲好きはいつから?地震の震源、大ナマズを退治!など、クイズとアイテム探して楽しむ今までにない絵画鑑賞ができる一冊!



### ● 今月のテーマ展示 ●

#### 「闘病記」

闘病記とは、患者本人や家族などが病気の状況や治療の過程、病気がどう向き合ったかを記録したものです。病気の体験を知ることにより、医学書ではわからない情報、そして病気とともに生きる手がかりを得ることができます。

#### 新着児童図書

- ◆いのちの木ーもしも地球の生きものが一枚の葉だったらー……ロシェル・ストラウス
- ◆ルール! ……シンシア・ロード
- ◆エゾオオカミ物語 ……あべ弘士
- ◆てんごくのおとうちゃん ……長谷川義史
- ◆吟遊詩人ピードルの物語ーHarry Potterー ……J.K ローリング
- ◆いのちの食べかた ……森 達也
- ◆だるまさんと ……かがくい ひろし
- ◆14歳からの社会学ーこれからの社会を生きる君にー ……宮台真司
- ◆にんげんになったニクマンジュウ ……長 新太

#### 新着一般図書

- ◆歌集「雪代の音」 ……伊藤富子 (新庄市在住)
- ◆豚のPちゃんと32人の小学生ー命の授業300日ー ……黒田恭史
- ◆びっくり妊娠なんとか出産 ……細川貂々
- ◆100歳になった介助犬 ……藤原嗣治
- ◆鶴工舎の仕事ー長泉寺建立記ー ……塩野米松
- ◆世界がもし100人の村だったら 完結編 ……池田香代子
- ◆東大合格生のノートはかならず美しいー徹底分析・二〇〇冊ー ……太田あや
- ◆働く女(ひと)の心身・急速充電の方法101 ……はにわ きみこ
- ◆怒れる女たち ……八坂裕子
- ◆雪の結晶ー小さな神秘の世界ー ……ケン・リブレ
- ◆革命のライオン(小説フランス革命1) ……佐藤賢一
- ◆悼む人(第140回直木賞受賞作) ……天童荒太
- ◆泥(こひ)ぞつもりて ……宮木あや子
- ◆BE-TWINS ……越智月子
- ◆壺霊(上・下巻) ……内田康夫
- ◆エッジ(上・下巻) ……鈴木光司
- ◆南極<人> ……京極夏彦
- ◆俺だって子供だ! ……宮藤官九郎

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日
- ◎市立図書館 ☎22-2189

蔵書検索



## 自分だけの1枚

～もみの木スクール～



市は、子どもたちに学校教育だけでなく、地域の人たちとかわり合いたがらスポーツや文化・伝承活動などの多彩な活動に取り組んでもらおうと、「もみの木スクール」を開催しています。今回は「隠明寺風(かくめいじふう)」をテーマとして、隠明寺風保存会 佐々木新一郎さんを講師に、隠明寺風の代表的な絵柄である「般若(ぼんね)絵」の風を作りしました。



隠明寺風の特徴である十本の竹を使った、「障子張り」という骨組みは、四本の竹を使った骨組みに省略しました。子どもたちは、小刀を使って竹を削ることや、般若絵を張る作業にてこずっていました。自分だけの満足のごく風を完成させました。



できあがった風を室内で揚げてみた子どもたちは、「しょすずにできてよかった。今度は外で揚げてみたい」と喜んでいました。子どもたちは、江戸時代から新庄に伝わる伝統工芸にふれながら、最近は見なくなつた遊びでもある「風(ふう)づくり」を楽しみました。

年の火災の後、天守閣は再建されなかつた。この本丸部分はほぼ現在の新庄城址(最上公園)に当たる。政盛は、このほか二の丸、三の丸の区画を設け待町も整備したが、これは二代藩主・正誠の時代に大改造されることになる。

真室城 清水城などそれ以前の城は、多くは大きな川の河岸段丘上に位置し、合戦に備えたのに対し、この新しい新庄城は領地のほぼ中央、平地の真ん中に築かれた典型的な近世城郭であり、政治・経済・産業・交通などの要衝にあつて藩主の権力を誇示するものであった。

なお、新庄城は「鵜沼城」とも「沼田城」とも呼ばれたことが、各種記録に残っている。



△夫婦をろって山車を曳く川崎さん(新庄まつり250年祭/平成17年)

新庄まつりが国指定の重要無形民俗文化財へ＝熱い人々を追う!

# 新庄まつり

②究極のまつり人間、川崎昭栄さん(沼田町/新庄山車連盟副会長)

新年早々、朗報である。先月十六日、「新庄まつりの山車(やたし)行列」を国の「重要無形民俗文化財」に指定するよう、文化審議会が文部科学大臣に答申を行った。正式決定は来月になるが、これで新庄の国指定文化財は、旧矢作家住宅、八幡神社本殿・拝殿、新庄藩主戸沢家墓所(瑞雲院・桂嶽寺)に続き四件目となる。

平成六年につくられた『新庄まつり百年の大計』で国指定を謳(うた)ってから十五年、本格的に事業着手後五年目にして、たくさんの方々の思いと熱い取り組みがこの慶事を成し遂げた。市議会においてもたびたび取りあげられ、事業進展の推進力となった。誠にうれしい限りである。

二五四年におよぶ新庄まつりをつくり、ささえ、動かしてきたのは地域の人々である。旧羽州街道沿いの町内を中心とした二十一の若連が山車をつくり、周辺農村部の若者が囃子を担う。市域北西部の方々が神輿行列を構成し、たくさんのこともたちが山車を曳く。女性たちは、まつりご馳走(ちま)に腕をふるって客をもてなす。人々の暮らしには、まつり暦ともいうべきサイクルがあって、新庄まつりは長い間そうして伝え、続けられてきた。

そうしたなかで、自他ともに「まつり人間」と称されるのが川崎昭栄さん。金山生まれの川崎さんは、小さい頃から金山・七日町の山車や北本町の山車を曳いたりついたりしてきたが、新庄まつりにかける思いが昂(たか)じ、二十年前に新庄に転居したほど。現在も、仕事は金山に通いながら、横町・下方場町若連の一員として山車製作を続けており、平成十六年からは、元朝まいりの人々に新庄城址でまつり囃子を演奏し続けている。

若いころからのバンド演奏も得意な川崎さんだが、山車題材のなかでは歌舞伎の「石橋(いしはし)が一番」といい、新庄まつりの絢爛(けんらん)さと伝統性に強く惹かれるのだという。「とにかく、みんなで作る山車、みんなで盛りあげる新庄のまつりがたまらない。今回の国指定は最高!」と語ってくれた。

## 市長 コラム

### 食品トレーリサイクルでCO<sup>2</sup>削減を



▲トレーの選別を行う福祉施設

「環境にやさしいまちづくり」として、プラスチック製品である食品トレーを市民と福祉施設、企業が一緒になって再利用を進める方法が、「新庄方式」と呼ばれ全国にその輪が広がっています。

障(さ)がいの者の皆さんの社会参加が進み、生きがいとなっていることもこの方式の素晴らしいところ。新庄市は、市内の多くのスーパーにご協力いただき先進的な地域といえます。しかし、最近スーパーの回収箱に食品トレーとごみを混ぜて持ち込む方が増え、福祉施設での分別効率が悪くなっています。粗悪(くわく)品トレーはリサイクル製品の質の向上をさまたげ施設の収入であるトレーの売(う)り価格にも影響(えいじやう)します。

CO<sup>2</sup>(二酸化炭素)削減効果の高い事業です。地球温暖化を防止するために、市民の皆さんの一層のご協力をお願いします。

## 表紙の写真

### おだんご いっぱい飾ったよ

～小正月の伝統行事・なしだんご飾り～



「千門町蛸(たこ)の会」が、地域の子どもたちに昔の風習を体験させてあげたいと、新庄小学校の1年生と「なしだんご飾り」を行いました。子どもたちは、ミズキの枝に紅白のだんごや夢や願い事を書いた短冊を一つ一つ丁寧に飾り付けていました。

## 12月 月末現在の新庄人

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 39,723人 (40,084人) |                     |
| 女                 | 20,738人 (20,897人)   |
| 男                 | 18,985人 (19,187人)   |
| 世帯数               | 13,488世帯 (13,472世帯) |

### 12月の異動

|    |            |
|----|------------|
| 出生 | 25人 ( 26人) |
| 死亡 | 21人 ( 35人) |
| 転入 | 66人 ( 77人) |
| 転出 | 79人 ( 72人) |

※ ( )は1年前の住民基本台帳